

第 35 回日本給食経営管理学会研修会 参加者アンケート集計結果

1. 参加者数と回答数

参加登録者数：135 名

アンケート回答数：70 名（回答率：51.9%）

2. 属性

1) 参加区分

	登録数 (名)	回答数 (名)
会員	73	38
日本給食サービス協会会員 企業の所属社員	22	11
学生（会員・非会員）	4	3
非会員	32	18
法人会員または賛助会員企 業所属社員	4	0

2) 回答者の年代

	回答数	(%)
20 歳代	7	10.0
30 歳代	11	15.7
40 歳代	20	28.6
50 歳代	26	37.1
60 歳代以上	6	8.6

3) 回答者の所属

	回答数	(%)
管理栄養士・栄養士養成課程 教員・助手	33	47.1
給食会社	15	21.4
児童福祉施設	11	15.7
行政	3	4.3
高齢者福祉施設	2	2.9
食品・食器関連業	2	2.9
学生	2	2.9
学校（栄養教諭・学校栄養職員等）	1	1.4
その他	1	1.4

3. 研修会について

1) 今回の研修会のテーマについて

	回答数	(%)
とても満足	24	34.3
満足	42	60.0
どちらでもない	3	4.3
やや不満	0	0
不満	1	1.4

2) 講演の内容はどのくらい参考になりましたか。

	講演①		講演②		講演③	
	回答数	(%)	回答数	(%)	回答数	(%)
とても参考になった	36	51.4	42	60.0	43	61.4
参考になった	31	44.3	27	38.6	24	34.3
どちらでもない	3	4.3	1	1.4	3	4.3
あまり参考にならなかった	0	0.0	0	0	0	0.0
参考にならなかった	0	0.0	0	0	0	0.0

4. 今後、企画してほしい研修（テーマ）があれば自由にご記入ください。（原文のまま）

1) 管理栄養士・栄養士養成課程 教員・助手

- ・給食施設における食事に費やせる時間や食事を行う場所等、環境やレイアウトに関する調査報告があれば知りたいです。昨今のうずらの卵による窒息事件については、SNS等では、給食の時間が短いためや、担任が完食を強いるなど、栄養・食事管理以外の面で食環境について考える必要があると感じました。また、大学の場合、授業間の休み時間が短い大学も多いため、結果的に早食いや欠食等に抵抗がなくなり、食環境への意識が醸成されにくいのでは、と考えております。そのため、そういった人が教員になれば、上記のような事も起こりうるのでは、と考えております。

2) 給食会社

- ・ガイドラインが発行された際に改めて詳しい研修をお願いしたいです。

3) 児童福祉施設

- ・ガイドが公表された後の具体的な解説
- ・保育所における食育活動の実際と年齢別の望ましいアプローチ内容・方法に関するテーマに関心があります。
- ・アレルギーや個別配慮食への対応、質の良い食事提供について

4) 行政

- ・給食施設の衛生管理

5) 高齢者施設

- ・高齢者福祉施設の給食・栄養管理について

6) 食品・食器関連業

- ・今回の研修会のような実態調査に基づいた、園での対策事例などが盛り込まれた内容も聞いてみたいです。

7) 学生

- ・保育所だけでなく学校給食での誤嚥などの防止を、食育を通してどう改善させるのかなどについての研修に参加したいです。

8) 自営業・フリーランス（管理栄養士）

- ・保育所栄養管理、給食管理の実態について、委託や直営での問題点、調理済み食品の活用度等について